

“Let’s Listen 6” 「英語の歌」～Heal the World by Michael Jackson～

奈良教育大学大学院 2年 糸綾香

1. 単元名 “Let’s Listen 6” 「英語の歌」～Heal the World by Michael Jackson～

2. 単元の目標

- ・英語の歌詞を「聞くこと」、「読むこと」を通して理解する。 (知識・技能)
- ・歌詞が作られた背景や当時の状況から、作者の想いを考えたり、考えたことを表現したりする。 (思考・判断・表現)
- ・曲が作られてから約30年経た現代の状況を考え、問題解決に向けて自分は何ができるのかを主体的に調べたり、まとめたりする。 (主体的に取り組む態度)

3. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に取り組む態度
①歌詞の中に出てくる英単語や英語表現を理解している。	①曲が作られた時代背景や当時の状況を知り、考えたことを表現する。 ②調べたことから作曲した作者の想いを考えや自分の考えを表現する。	①現代社会に存在する問題について興味関心を持っている。 ②問題解決に向けて自分ができることについて主体的に考えている。

4. 単元について

○教材観

本単元では英語の歌を取り上げ、歌詞を聴いたり読んだりする活動を通して歌詞や冒頭モノローグの意味理解をしたり、ミュージックビデオの意図を考える。また歌が作られた時代背景、作者に関する情報、作者へのインタビュー資料、関連する楽曲などを日本語や英語を用いて調べる。調べたことを基に、当時と現代それぞれに存在する社会的問題、解決されていない問題に対して理解を深め、解決に向けて自分ができることは何かを短い英作文にする。

今回取り上げるのは“Heal the World”という曲である。これは1991年に発表されたMichael Jackson自身による作詞・作曲によって作られた曲であり、アルバム“Dangerous”の7曲目に収録されている。曲が発表された1991年は「20世紀最後の戦争」ともいわれた湾岸戦争が勃発した年であり、歌詞は人生や当時の社会問題をテーマとしたものになっている。本作のミュージックビデオでは、アメリカ、アフリカ、中国、中東などで起こった内戦や、政府による抑圧、人種差別、貧困などで苦しんでいる多様な人種の子どもたちが登場する内容になっている。本作から発展して、Michael Jacksonは1992年にチャリティ団体である「ヒール・ザ・ワールド基金」を設立し、児童福祉を中心とする活動を展開した。

学習指導要領(平成29年度告示)における外国語科の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)の教育目標の中に、「社会的な話題」について、聞いたり、読んだりして要点を捉えることができるようにすることが求められている。この「社会的な話題」とは、社会で起こっている出来事や問題に関

わる話題のことで、具体的には、例えばエネルギー問題や国際協力などが考えられる。小学校の外国語科において、「日常生活に関する身近で簡単な事柄」が取り上げられるため、中学校では広く日常的な話題から社会的話題をと取り扱うことが求められている。今回取り上げる“**Heal the World**”は戦争、貧困などの「社会的な話題」をテーマとしており、外国語科で取り上げるのに適した教材である。また、歌詞には難解な英単語や表現があまり無く、英語の発話のスピードも遅く、はっきりと聞き取りやすいものであり、中学校3年間で学んできた文法事項・語彙の総まとめとして学ぶのに適している。

“**Heal the World**”を外国語科における ESD 教材として取り上げる意義は、曲冒頭に流れるモノローグの内容にある。子どもの声で、“**Think about the generations and say that we want to make it a better place for our children, and our children's children, so that they know it's a better world for them And think, if they can make the world a better place...**”（未来のことを考えてみよう、世界をより良い場所にしようと言ってみよう。子どもたちや孫、そのあとの世代の子どもたちのために。そうすれば、彼らにとって世界がより良い場所になったと分かるはず。そして彼ら自身でも世界をもっとよくすることができるって考えるだろう。）と流れる。自分たちが生きる現代だけでなく、未来の世代について、時間軸を意識した考え方を訴えかけている。また他人ではなく、自分たち自身が働きかけて、世界をもっと良くしていこうというメッセージは、**Michael Jackson** の他の作品にも見られるものである。例えば、1987年発表”**Man in the mirror**”でも「鏡に写る自分から変えていこう。より良い世界にするにはまず自分を見て、変化を起こそう」と自分の行動を起こすことが大事だと訴えている。時間軸を意識した考え方や自分自身による行動を促すことができる点が ESD 教材として適していると考えられる。

## ○児童観（省略）

## ○指導観

本単元と、学習指導要領(平成 29 年告示)との関わりは、以下のとおりである。

### 1 目標

#### (1) 聞くこと

ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。

#### (2) 読むこと

ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。

今回、ここで述べられている「社会的な話題」として 30 年前から現在まで解決されていない戦争、貧困の問題を取り上げ、“**Heal the World**”という曲の意味や作者の思い、時代背景について学ぶことを通して、社会的な問題に対して自分は何ができるのかを考えていく。

第1次では、曲の歌詞の意味を理解する活動や、ミュージックビデオを視聴することを通して、曲がどのような思いで作られたのかを考えていく。歌詞のほとんどの語彙、表現に難しいものは無いが、一部のフレーズに高等学校で学ぶ仮定法が含まれているため、日本語での補足説明を行い生徒全員が共通理解を持てるようにする。

第2次では、曲が作られた時代背景、作者自身について調べ、考える活動を行う。中学校社会科で学

習する公民的知識、歴史的知識を振り返りながら、湾岸戦争の説明資料、Michael Jackson へのインタビュー動画より、ディスカッションによる意見交換をする。

第3次では、曲が作られてから約30年経った現代社会の問題について話し合う。30年経った今でも戦争や貧困の問題が無くならないのはなぜか、なぜ戦争が起きてしまうのかという問いを通して、問題の解決のため自分が今、できることは何かを考え、短い英作文を行う。

## 5. ESD との関連

○学習を通して主に養いたいESDの視点

公平性：現代に生きる人々だけでなく、自分たちの将来世代にとってより良い世界とは何かを考える。

責任性：Michael Jackson の「変化を起こすには自分が行動することが大事」というメッセージについて考え、行動する。

○学習を通して主に養いたいESDの資質・能力

クリティカルシンキング：

○育てたいESDの価値観

・世代内の公正と世代間の公正：社会的問題を解決し、より良い世界を将来世代に残していきたい。

○貢献できるSDGs

16：地球上のすべての人間にとって、安心できるより良い世界にしたいと努力をする。

## 6. 学習活動の概要

全3時間

	主な学習活動	学習への支援	◇評価 ・備考
第1次	1. "Heal the World"を聴く。 ・歌詞無し/歌詞あり	○英語の歌詞、日本語の対訳を用意し、語彙指導を行い確実に意味理解ができるようにする。	ア①
	<b>Michael Jackson はどんな想いでこの曲を作ったのか？</b>		
	2. 聴いた印象、理解したことをグループで話し合う。 ●きれいな曲 ●子どもの歌声が聞こえる ●より良い世界ってなんだろう	○できるだけ英語で話し合いを行うよう伝える。	
	3. ミュージックビデオを見て、受けた印象をグループで話し合う。 ●戦争の歌 ●子どもがたくさん出てくる		

	<p>●怖い</p> <p>4. 歌詞をもう一度見直し、理解を深める。</p>		
第2次	<p>1. "Heal the World"という曲について、作者、作られた時代背景について、資料より理解したり、自分で調べたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湾岸戦争</li> <li>・ なぜ湾岸戦争が起こったか</li> <li>・ Michael Jackson について</li> <li>・ Michael Jackson のインタビュー</li> </ul> <p>2. 考えたことをグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作者の想いについて</li> <li>・ 作られた理由</li> <li>・ なぜ戦争は起こるのか</li> </ul>	<p>○社会科で学習した内容の復習を行う。</p> <p>○資料は英語を基本としながらも、日本語での補助、補足資料も用意する。</p> <p>○インタビュー動画は日本語字幕を用意する。</p> <p>○次々への課題として、現代社会に存在する問題について調べてくるように指示をする。</p>	イ①、イ②
第3次	<p>1. 課題を基に、現代社会の問題についてグループで話し合う。</p> <p>2. 自分たちが問題の解決に向けてできることを2～3文の英作文にする。</p> <p>3. 書いた英作文をグループで共有する。</p>		ウ①、ウ②